

平成30年度 大阪府立大手前高等学校 第1回学校運営協議会（全日制部会）

平成30年7月11日（水）

10時00分～12時00分

本校校長室

1. 開会・校長挨拶
2. 「学校運営協議会」について
3. 委員・出席者紹介
4. 会長挨拶
5. 協議
 1. SSH重点枠事業の継続について
 2. 課題研究授業について
 3. 学校行事について
 4. その他
6. 閉会

配布資料

学校運営協議会の設置について

学校運営協議会 実施要項

平成29年度 学校経営計画及び学校評価

平成30年度 学校経営計画及び学校評価

平成29年度 GLHS評価シート

平成30年度 行事予定

平成30年度 学校案内・補助資料

7. 委員からの主な意見

< SSH重点枠事業の継続 >

意見 SSHの数学重点枠が他校に移ったことは残念であるが、大手前高校では昔から数学に力を入れていた経緯があるので、マスフェスタ・マスキャンプをはじめとする、特色ある活動を今後も続けてほしい。

< 課題研究授業 >

意見 生徒全員の課題研究に対する意識を高めることは難しい。また、必ずしも全員が高度な課題研究活動をする必要はないのではないかと。周りの友達の研究姿勢を見ることで学べることも多くある。また、教員への負担の増加が懸念されるので、学校全体で工夫することが求められる。

意見 「課題研究が面白い！」という意識を育てていくことは、大学レベルでも難しい。生徒が興味を持った内容をどのように伸ばしていくかが、将来の研究へ意識づけに繋がるので、生徒に多くの機会を与えて経験させることが大切である。

意見 他校でも課題として挙げられているが、課題研究の評価では、ばらつきが小さくなる。積極的に取り組んでいる生徒と、そうでない生徒が同じ評価であると、積極的に取り組んでいる生徒のモチベーションの維持が難しい。また生徒1人1人のよさ（持ち味）を評価できるとよい。

意見 課題研究と大学受験との関連が希薄であることに不安を感じている保護者もいるはず。課題研究で培った「考える力」が大学受験に通ずる部分もあるということを保護者の方にも説明する必要がある。

< 学校行事 >

意見 学校行事がたくさんあることで、いろいろなタイプの生徒が輝く場所が提供されている。また高校生の中にいろいろな経験をすることで、自らの進路選択の幅を増やす要因になっているので良い。

意見 学校行事がたくさんあることで、生徒は限られた時間内に勉強や部活動の両立に加え、学校行事の準備を進めることになるので、タイムマネジメント力が育成されて良い。

< その他 >

意見 海外進学に関する情報提供を行い、卒業後の進路の選択肢を増やすと良い。ただし、海外の大学を目指すための勉強をするのではなく、日本国内での教育をしっかり受けた上で、進学すると良い。

意見 会議のペーパーレス化、進路希望の集計結果を電子データ化、出席連絡のシステム化など、ICTを活用することで、働き方改革に伴う校務の効率化を進めていけるとよい。